

感染症から 子どもたちを守るために



南多摩保健所保健対策課 感染症対策担当

令和7年6月20日

本日の内容

- 感染症とは
- プールでうつる感染症とは？
- 予防するためのポイント
- 注意が必要な感染症

感染と感染症

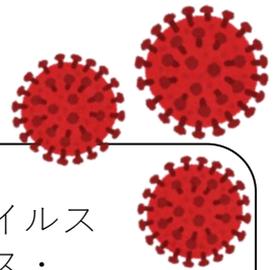


<細菌>

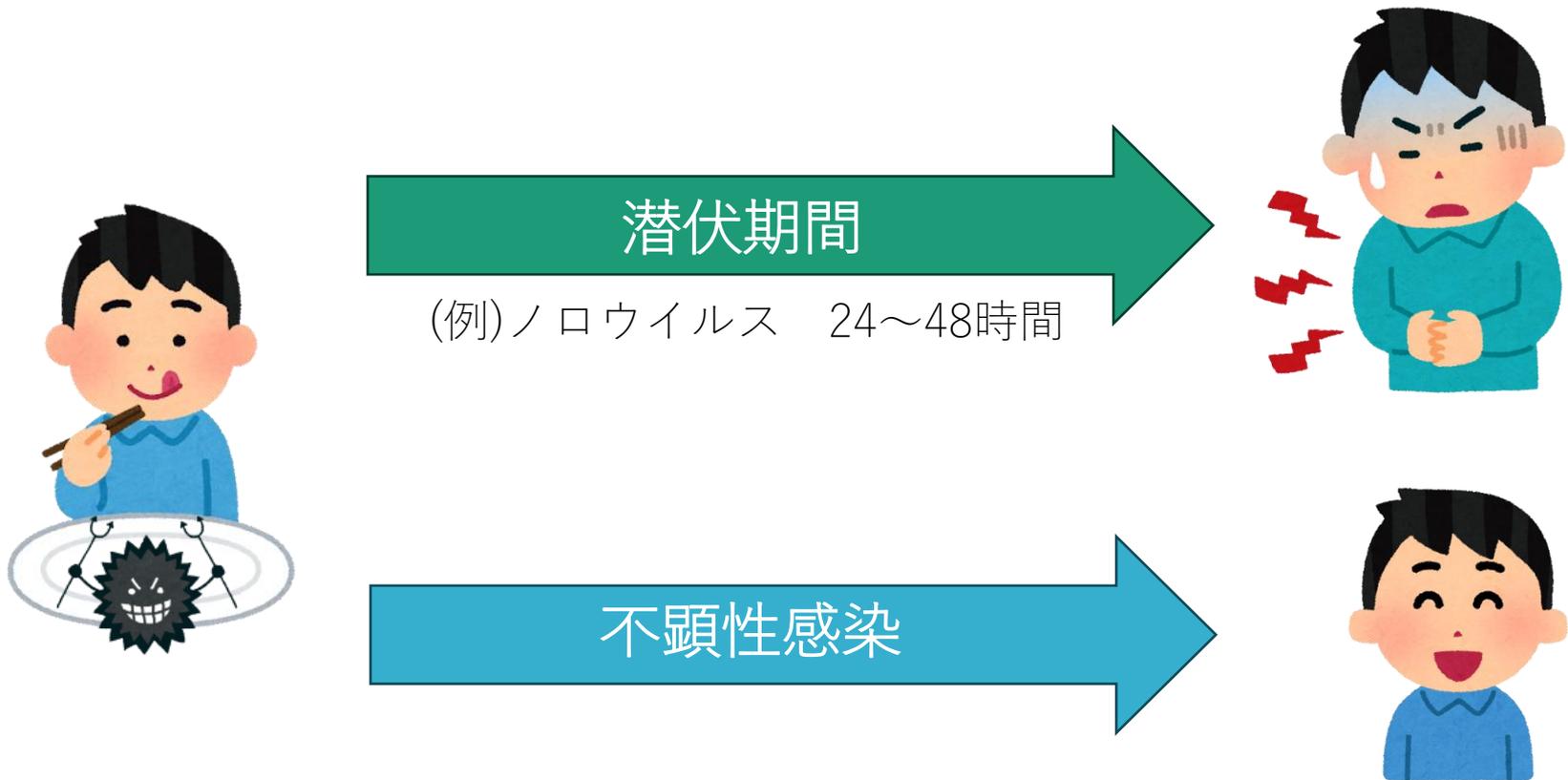
結核菌、腸管出血性大腸菌
赤痢菌・チフス菌
A群溶連菌・黄色ブドウ球菌等

<ウイルス>

インフルエンザ・ノロウイルス
コロナ・アデノウイルス・
ロタウイルス・RSウイルス
麻しんウイルス・風しんウイルス等

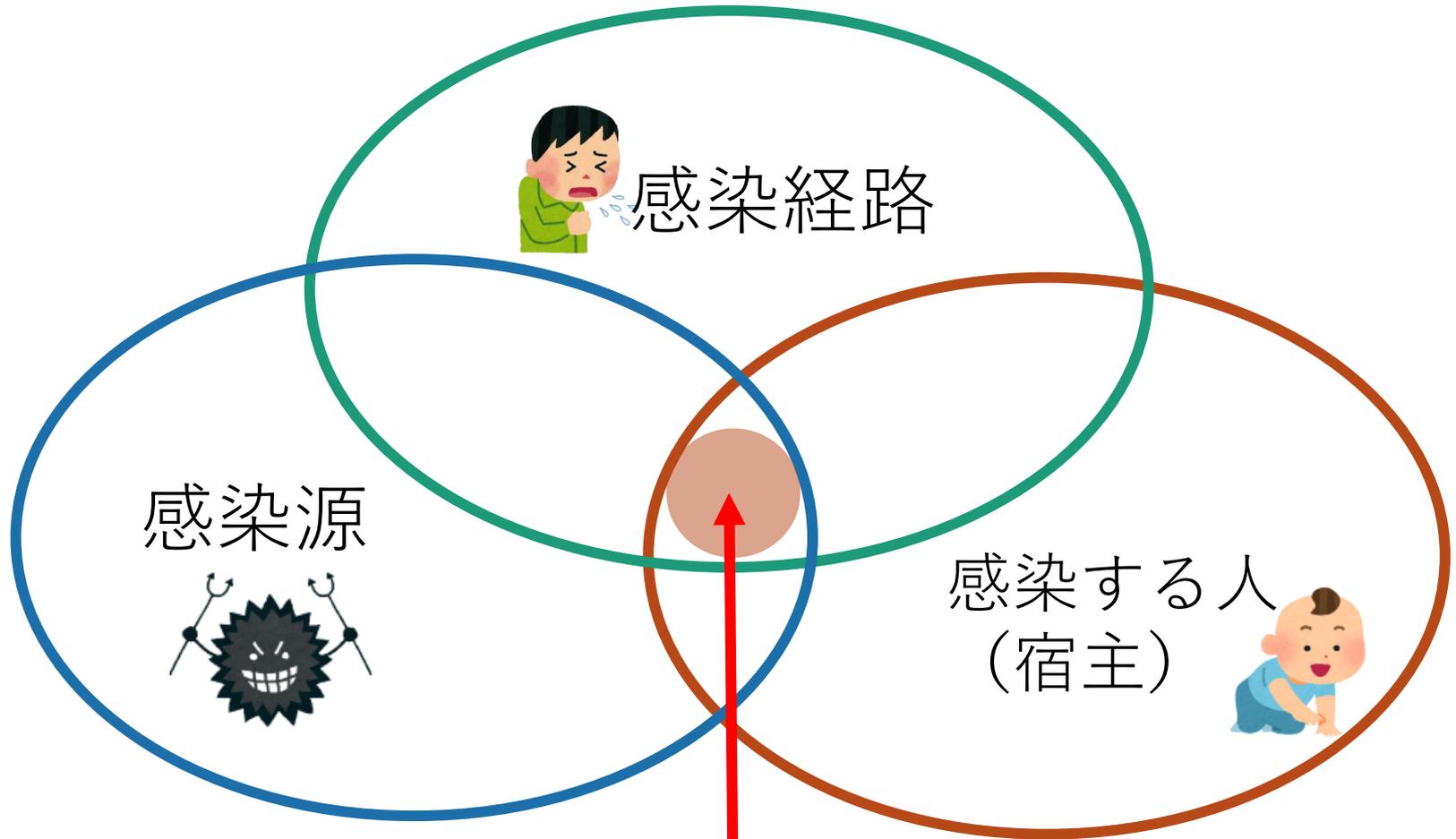


潜在期間と不顕性感染



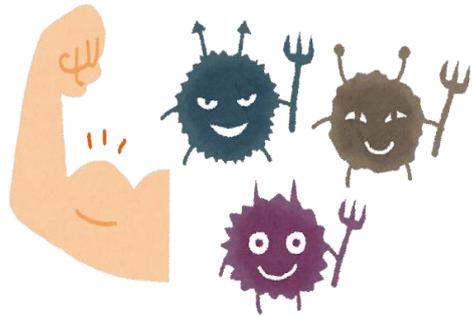
感染性を有する期間は疾患によって異なる。
潜伏期間中や症状がおさまってからも病原体が
排出される場合がある。

感染症の3要素

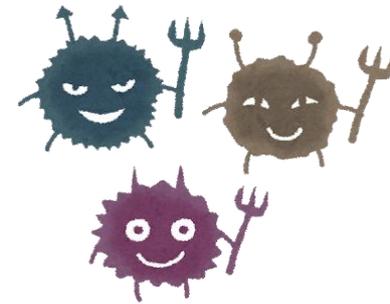


3つの要因が重なると感染症が成立

どんな時に「うつる」？



病原体の毒力が強い



病原体に抵抗力がない



病原体の量が多い

感染症対策の3つの柱

~~感染源~~



~~感染経路~~



感染する人
(感受性^{しゆくしゆ}宿主)

感染源の排除



感染経路の遮断



宿主の抵抗力の向上



プールと感染症

- ①肌を露出した集団行動
- ②粘膜の間接的接触が多い
(プール水、ビート板等)
- ③体力の消耗。
体温差が生じやすい



⇒ 感染源が宿主と接触する機会が多い。

⇒ 宿主が発症しやすくなる



プールでうつりやすい感染症

【飛沫感染】



- ・ ヘルパンギーナ
- ・ 手足口病
- ・ 咽頭結膜熱（プール熱）

【接触感染】



- ・ 伝染軟属腫（水いぼ）
- ・ ウイルス性結膜炎
- ・ 伝染性膿痂疹（とびひ）
- ・ ヘルパンギーナ
- ・ 手足口病
- ・ 咽頭結膜熱（プール熱）

【経口感染】



- ・ ヘルパンギーナ
- ・ 手足口病

ヘルパンギーナ

1歳～4歳児に多く、6～8月にかけて流行する。



【潜伏期間】 2～4日

【症状】

- ・ 高熱（有熱期間は2～4日）
- ・ 口の中の水疱
- ・ 嚥下時の咽頭痛 → 症状は1週間程度で消失

【治療】

- ・ 症状に合わせた治療が必要。脱水症状に注意。

【登園目安】

発熱や咽頭痛・下痢症状が改善し、普段の食事ができるようになり、本人の全身状態が安定してから。

2～4週間にわたりウイルスが排泄あるため、ケアする人も感染対策が必要！



手足口病

【潜伏期間】 3～6日

【症状】

- ・ 有痛性口腔粘膜発疹（アフタ様）
- ・ 手掌、足裏の中心とする水疱性発疹が同時に生じる。
- ・ 発熱・発疹・口内炎（有熱期間は1～3日）

【治療】

- ・ 対症療法
- ・ 口腔内水泡の刺激にならない食事と水分補給を。

【登校目安】

発熱や咽頭痛・下痢症状が改善し、普段の食事ができ、全身状態が安定したら。



2～4週間にわたりウイルスが排泄あるため、ケアする人も感染対策が必要！



出典：国立感染症研究所ホームページ

咽頭結膜熱（プール熱）

【潜伏期間】 5～7日

【症状】

発熱、咽頭炎（咽頭痛）、結膜炎。
その他、リンパ節が腫れる、腹痛、下痢など。
症状は1週間程度で消失

【治療】 対症療法



【登園目安】

主な症状が消失後、2日経過してから。※学校保健安全法では第2種感染症



タオルの共有厳禁！！

おむつ等の取扱い注意！



なんぞくしゅ

伝染性軟属腫 (水いぼ)

【感染経路】

- ・ 接触感染
(感染力は弱い。皮膚やタオル等を介して感染)
※アトピー性皮膚炎児に多い。掻くことで広がる

【潜伏期間】

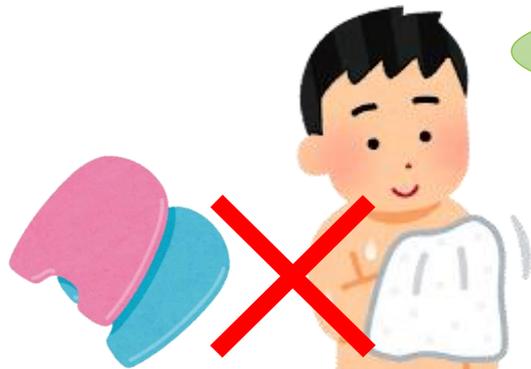
- ・ 2～7週間。時に6ヶ月。

【症状】

- ・ 光沢を有する2～10mmの半球状丘疹（中心臍窩）が散在

【治療】

- ・ 除去または経過観察
- ※数ヶ月から数年で抗体を獲得して自然治癒する。
除去するか自然治癒を待つかはかかりつけ医との相談。



タオル等の共有厳禁！

良く洗い流す！



ウイルス性結膜炎

① 流行性角結膜炎

【病原体】 アデノウイルス 8、19、37型 【潜伏期間】 1～2週間

② 急性出血性結膜炎

【病原体】 エンテロウイルス 【潜伏期間】 1～2日

③ 咽頭結膜炎（プール熱）

【病原体】 アデノウイルス 3型、4型、7型、11型 【潜伏期間】 5～7日

【感染経路】 飛沫、接触感染

※結膜炎症状がある間は感染の可能性あり

【治療】 対症療法

※抗菌薬を投与し混合感染を予防することもある



タオル等の共有厳禁！

良く触れる場所の消毒を！
アデノウイルスには次亜塩素酸！





流行性角結膜炎



急性出血性結膜炎

出典：国立感染症研究所ホームページ

伝染性膿痂疹 (とびひ)

【潜伏期間】

- ・ 2～10日。長期の場合もある。

【症状】

- ・ 痂皮性膿痂疹（好発年齢・季節性なし）：
全身性の膿包、痂皮
- ・ 水疱性膿痂疹（乳幼児に多く、夏に多い）：
顔面、四肢、体幹に豆大球状の水疱。容易に
破れ、びらん形成←感染性高い

【治療】

- ・ 抗菌薬の内服、外用薬

痂皮性膿痂疹



© 社団法人日本皮膚科学会



十分な手洗い！

浸潤部位の保護！
治癒するまではプール見学！



もっと詳しく知りたい方は…

感染症についての
情報を掲載しています

東京都感染症情報センター
Tokyo Metropolitan Infectious Disease Surveillance Center

Google™ カスタム

English Multilingual Translation(TEST) 更新日：2016年5月19日

東京都
インフルエンザ情報
最新号

トピックス

ジカウイルス感染症
感染症ひとくち情報 中南米等で流行しているジカウイルス感染症とは？

流行警報・注意報

インフルエンザ（警報：2016年2月12日）
※第13週（3月28日から4月3日まで）において終息基準値以下となったために東京都のインフルエンザ流行警報は終息しました

感染症発生動向調査

感染症発生動向調査とは 届出基準・届出様式
東京都感染症週報（最新：週報告-19週・月報告-4月）

疾患別情報メニュー
WEB感染症発生動向調査
外部リンク
→ 東京都健康安全研究センター
→ 東京都福祉保健局感染症対策課
→ 東京都
→ 地方衛生研究所ネットワーク
報道発表
ご利用にあたって
更新履歴

東京都感染症情報センター
（東京都健康安全研究センター） 東京都健康増進・感染症対策部

予防するためのポイント

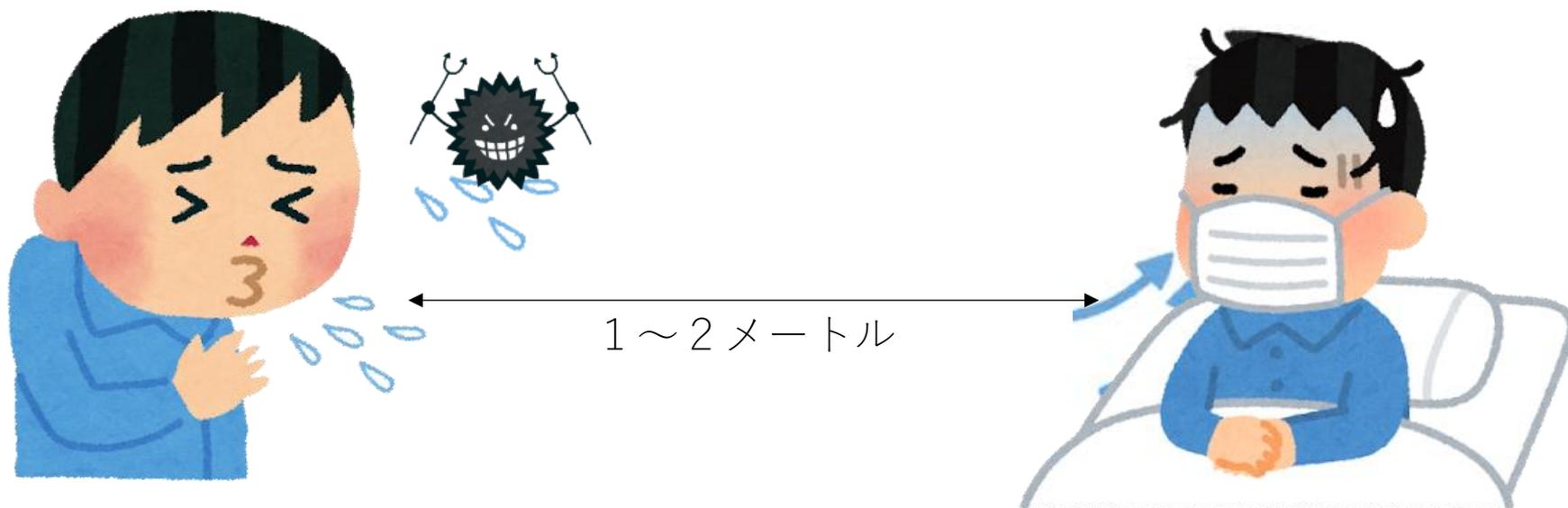
集団生活の場では、
初期段階において感染拡大をいかに食い止めるかがポイント！

1. 感染症の特徴を知る
2. 感染経路を遮断する対策
3. 早期探知・対応をこころがける

感染経路を遮断する対策

感染経路	内 容	主な感染症
飛沫感染	会話やくしゃみ・咳などをした時のしぶき(飛沫)を介して感染	ヘルパンギーナ 咽頭結膜熱(プール熱) 手足口病
接触感染	皮膚や粘膜にいる病原体が手指や器具などを介して感染	伝染軟属腫(水いぼ) ウイルス性結膜炎 伝染性膿痂疹(とびひ) ヘルパンギーナ 咽頭結膜熱(プール熱) 手足口病
空気感染	しぶき(飛沫)の水分が蒸発した菌・ウイルスが空気の流れに乗って空中を浮遊し、それを吸い込むことで感染	ヘルパンギーナ 手足口病 麻疹
経口感染	病原体に汚染された水や食べ物、手指などが経口的に消化管に入ることによって感染	腸管出血性大腸菌 コレラ、赤痢
血液感染	血液中の病原体が注射や傷口の接触によって体内に入り感染	B型肝炎、C型肝炎 エイズ

感染経路を遮断する対策 飛沫感染



咳エチケット、換気

咳やくしゃみをするとき…



手で押さえる
→その手で触ったドアノブ
など周囲のものに
ウイルスが付着。
→ドアノブなどを介して
他の人に病気をうつす
可能性あり。



せきやくしゃみをするとき、
しぶきが**2m**飛びます。

(出典：厚生労働省ホームページ)

正しい咳エチケット

1. マスクを着用する



鼻からあごまでを覆い、隙間がないようにマスクをつけましょう。

2. ティッシュ・ハンカチで口を覆う



口と鼻を覆ったティッシュは、すぐにゴミ箱に捨てましょう。

3. 上着の内側や袖で覆う



(出典：厚生労働省ホームページ)

正しい咳エチケット



手洗いが最も大切です。
アルコールを含んだ消毒液を手
にすり込むことも有効です。

素手で咳・くしゃみを受け止めた
場合は手を洗う

感染経路を遮断する対策

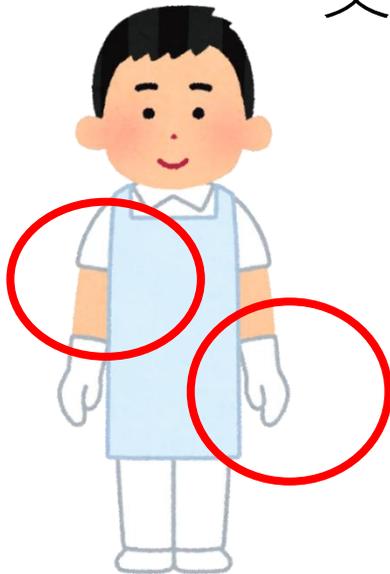
接触感染



おむつ交換での注意

チェックポイント

- ・手袋やエプロンを使っているか
- ・連続でおむつ交換をしていないか
- ・手洗いは行っているか
- ・交換場所の消毒しているか



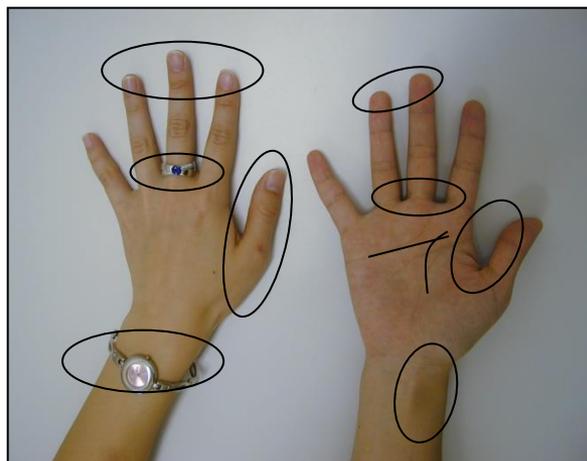
手洗い

※ 液体石けんが推奨されます。

手洗い前の準備

- 爪は短く切っていますか？
- 時計や指輪をはずしていますか？

Check !



汚れが残りやすいところ

- 指先
- 指の間
- 親指の周り
- 手首
- 手のしわ

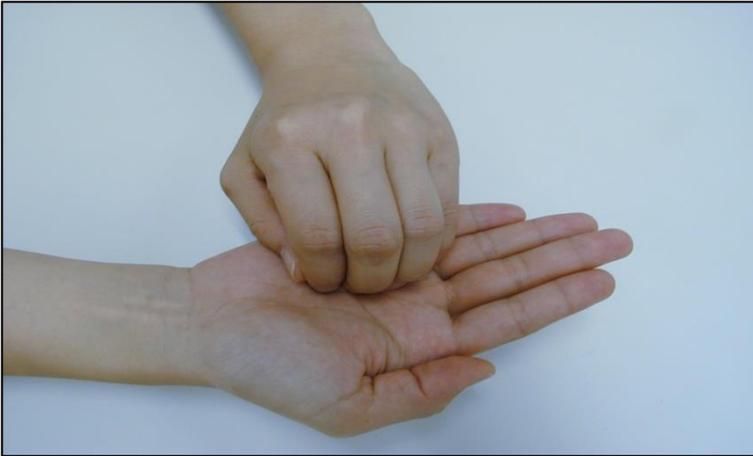
①石鹸を泡立て、手のひらをこする



②手の甲をのばすようにこする



③指先・ツメの間を念入りにこする



④指の間を洗う



⑤親指と手のひらをねじり洗いする



⑥手首も忘れずに洗う



流水で流し、ペーパータオルや個人用のタオルで拭き取る



手洗いの時間・回数による効果

手洗いの方法	残存ウイルス数 (残存率)*
手洗いなし	約1,000,000個
流水で15秒手洗い	約10,000個 (約1%)
ハンドソープで10秒または30秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎ	数百個 (約0.01%)
ハンドソープで60秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎ	数十個 (約0.001%)
ハンドソープで10秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎを2回繰り返す	約数個 (約0.0001%)

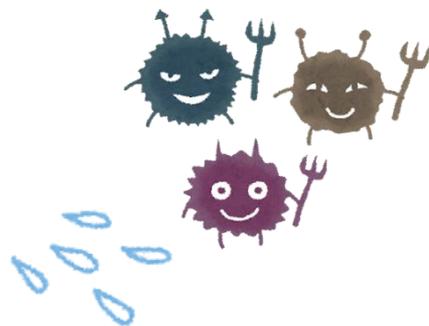
*:手洗いなしと比較した場合

出典

森功次他:感染症学雑誌、80:496-500,2006

<http://journal.kansensho.or.jp/Disp?pdf=0800050496.pdf>

感染経路を遮断する対策 空気感染



早期探知・対応をこころがける

①日頃からの園児・職員の健康観察を行う。

- 体調不良者が増えていないかを把握。
- 感染症と診断された園児・職員がいる場合には、具体的な注意点や症状出現時の対応を保護者やスタッフに伝える。
- 体調不良者は休む！！



健康観察のポイント



②地域の流行状況に注意する！



南多摩感染症週報

<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/minamitamagyomu/kansen/shuuhou.html>

では、南多摩保健所管内での
感染症週報がご覧頂けます！

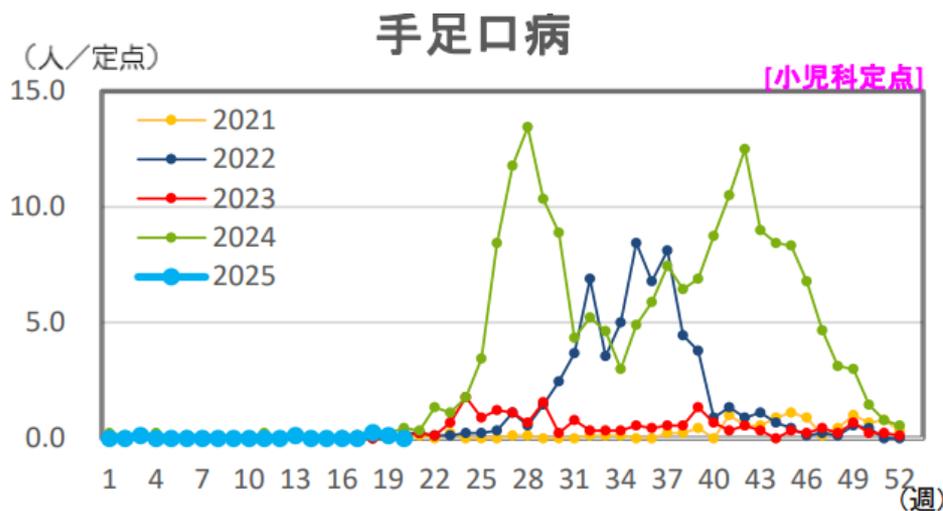
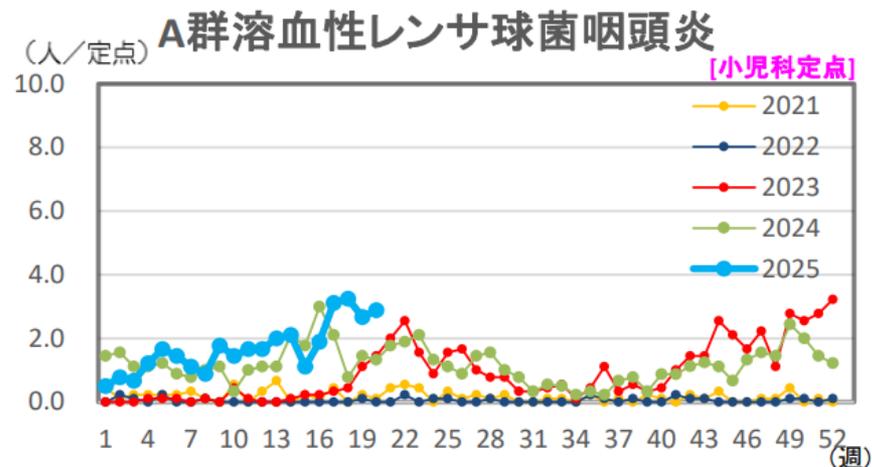
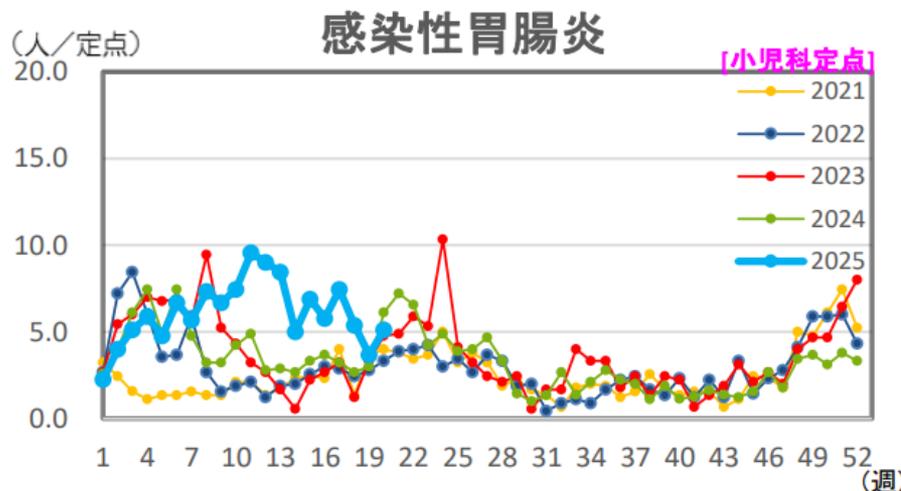
トップページから

- 「業務内容から探す」をクリック
- 「感染症に関すること」をクリック
- **南多摩感染症週報**



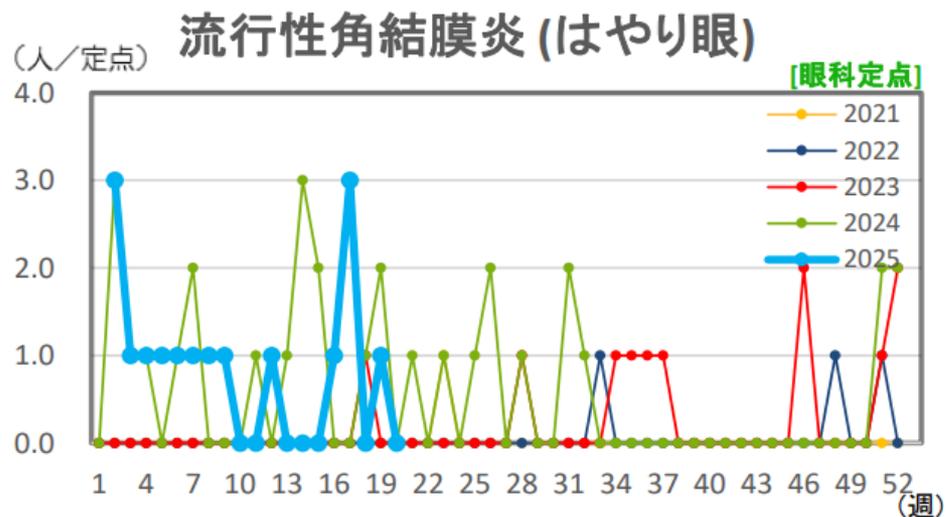
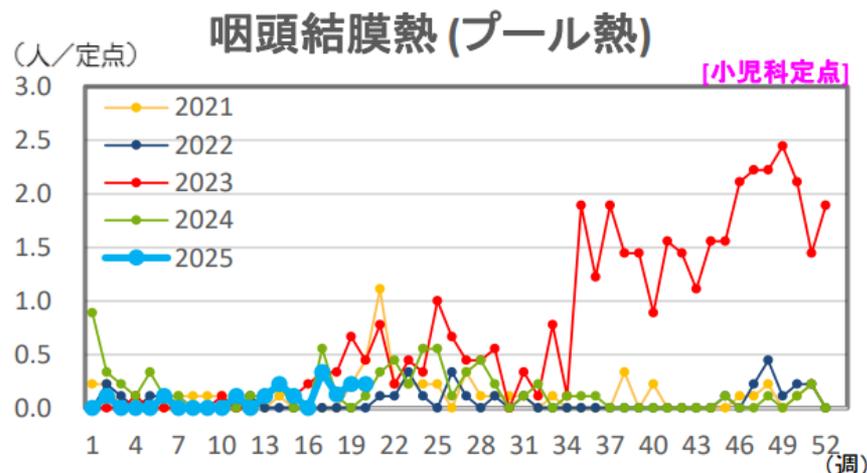
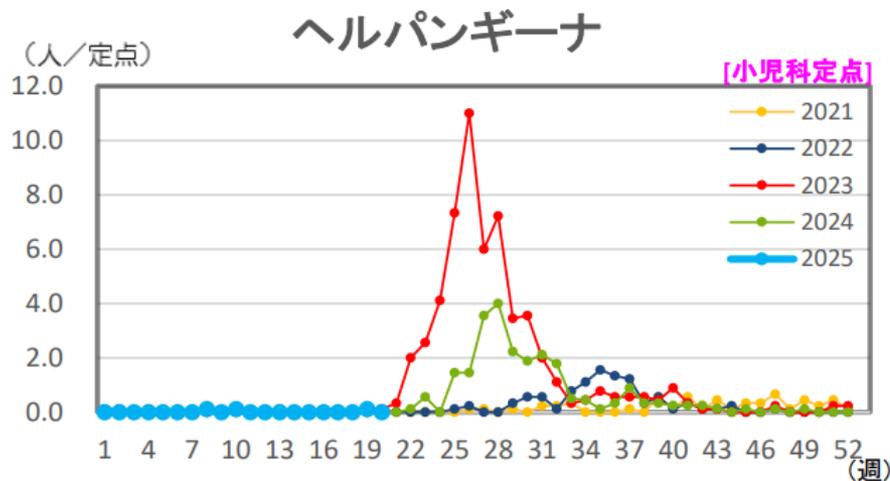
南多摩管内の最近の発生動向は？

【第20週】



南多摩管内の最近の発生動向は？

【第20週】



集団発生時かも・・・？

○保健所へ報告

(042-371-7661→感染症対策担当へ)

- ・まずは電話で報告を
発症日、人数（園児？職員？）症状
重症者の有無、園での対策等
- ・発生状況を保健所へ報告（FAX）
南多摩保健所HPから様式をダウンロードできます。
- ・新たな発生が一定期間ないことを確認し、終息



○保護者へ報告

- ・掲示等で情報提供を（発生状況、対策など）

○主管課、教育委員会へ報告

集団発生時の報告基準について

社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について より

・社会福祉施設等の施設長は、次のア、イまたはウの場合は、市町村等の社会福祉施設等主管部局に迅速に、感染症または食中毒が疑われる者等の人数、症状、対応状況等を報告するとともに、併せて保健所に報告し、支持を求めるなどの措置を講ずること

ア. 同一の感染症若しくは食中毒によるまたはそれらと疑われる**死亡者**または**重篤患者**が**1週間以内に2名以上発生**した場合

イ. 同一の感染症若しくは食中毒の患者又はそれらが疑われる者が**10名以上**又は**全利用者の半数以上**発生した場合

ウ. ア及びイに該当しない場合であっても、**通常の発生動向を上回る感染症等の発生が疑われ、特に施設長が報告を必要と認めた場合**

まとめ

プールでの感染を予防するために

- ・体調のすぐれない時は、無理をさせない。
- ・原則として、症状がある時はプールに入れない。
- ・直前、直後のシャワーの徹底
(プールに入る前、シャワーでよく下半身を洗うこと！)
- ・水泳直後のうがい・手洗い
- ・タオル、目薬などを共有しない
- ・更衣室、トイレ等の共有スペースの清潔と乾燥
- ・おもちゃ・ビート板・浮輪なども、できるだけ共有を
さげ、共有した場合は、使用後の清潔と乾燥
- ・残留塩素濃度を保持する。

水痘（みずぼうそう）

【感染経路】

- ・ 空気感染、飛沫感染、接触感染

【潜伏期間】

- ・ 2週間前後

【症状】

- ・ 水疱、38°C前後の発熱、全身に直径3～5mm程度の丘疹

【感染可能期間】

- ・ 発しんが現れる1、2日前～全ての 水疱が痂皮化するまで。

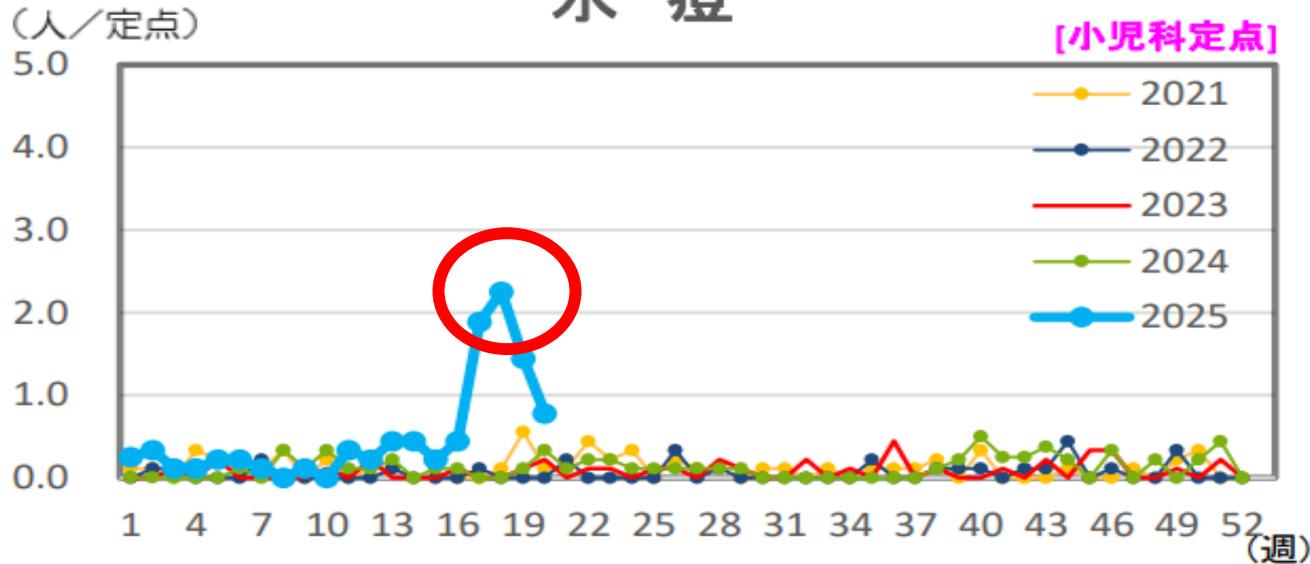
出席停止期間



東京都感染症情報センターより

水痘（みずぼうそう）

水痘



【予防方法】

- ・ワクチン接種（2014年10/1～定期予防接種に）
⇒発症予防、重症化予防になる！！



東京都感染症情報センターより

百日咳



【感染経路】

- ・飛沫感染

【潜伏期間】

- ・5～21日（通常7～10日）

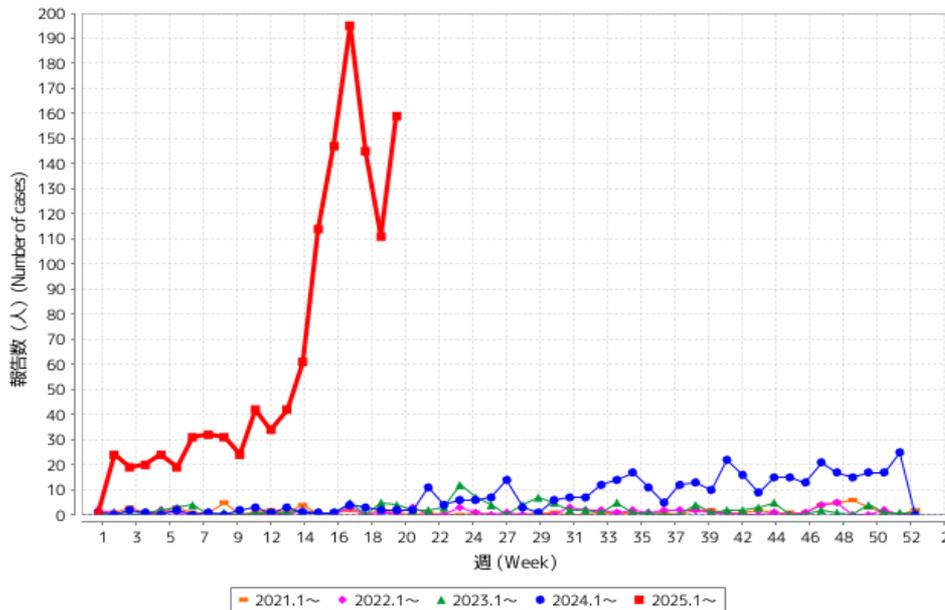
【症状】

- ・カタル期（約1～2週間）：風邪症状から徐々に咳が強くなる。
- ・痙咳期（約2～3週間）：短い咳が連続的に起こる。
- ・回復期（2～3週間）：時折、発作性の咳の出現。

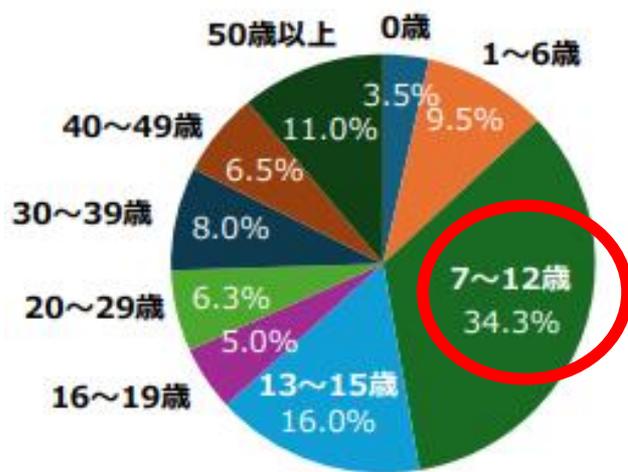
生後6か月未満は
死に至る危険性が高い！！

百日咳

受理週別報告数推移 (過去5年)



2024年 年代別報告割合 n=400



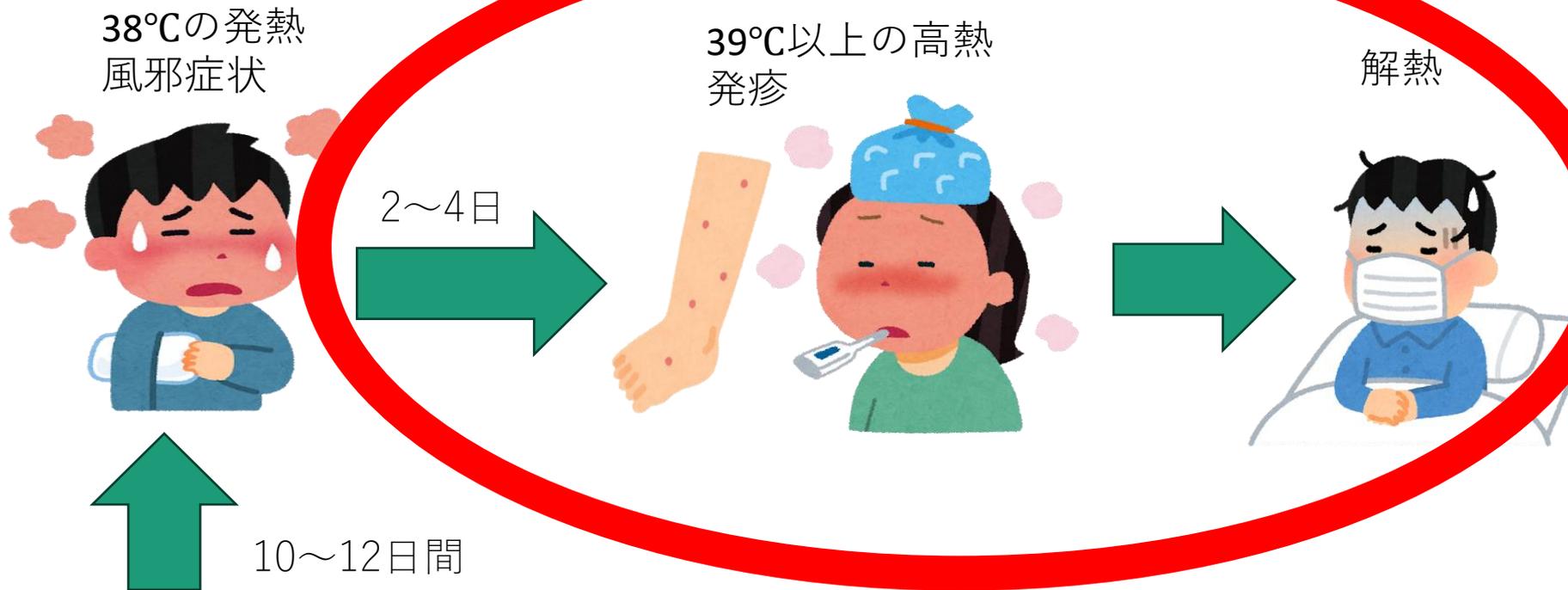
【予防方法】 ワクチン接種

- ・ 定期予防接種：5種混合ワクチン
- ・ 追加ワクチン接種：3種混合ワクチン

- ①小学校就学前の1年間 ②11~12歳



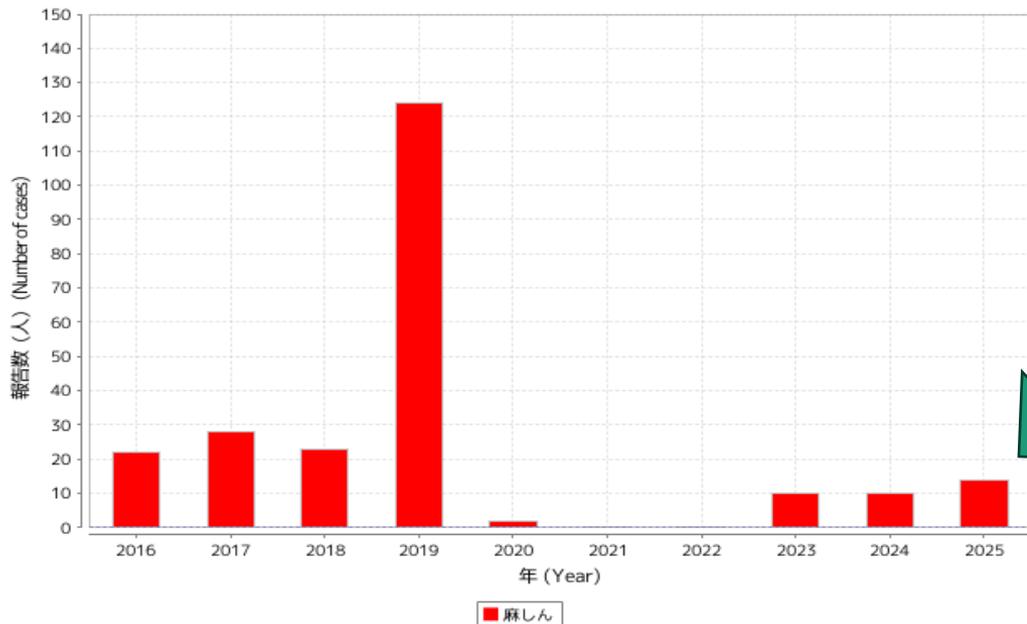
麻疹



発疹出現4日前～出現後4、5日
発症前1日前～解熱後3日間

麻疹

年別報告数推移（過去10年）



【予防方法】 ワクチン接種
(接種時期)

第1期定期接種：1歳児

第2期定期接種：小学校入学前1年間の幼児



最後に

- ・ 誰でも何らかの感染症にかかる可能性があり、感染症対策に「完璧」はありません。
- ・ 子どもの健康を守るために
「少しでも感染のリスクを下げる行動」を、
日常の保育に取り入れていくことが
大切です。



参考リンク先

- 保育所における感染症対策ガイドライン（こども家庭庁）
https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/e4b817c9-5282-4ccc-b0d5-ce15d7b5018c/d557529d/20230401_policies_hoiku_15.pdf
- 学校において予防すべき感染症の解説（文部科学省）
https://www.gakkohoken.jp/book/ebook/ebook_R050080/index_h5.html#4
- 学校、幼稚園、保育所において予防すべき感染症の解説（日本小児科学会）
http://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=46
- 東京都感染症情報センター：
 - 百日咳：<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/diseases/pertussis/>
 - 水痘：<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/diseases/chickenpox/>
 - 麻疹：<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/diseases/measles/>

みんなの努力で・・・

